

がいこくじんじどうしゃせいひぎのうじゅうひょうかしけん
外国人自動車整備技能実習評価試験
じつぎしけんもんだい
実技試験問題

じどうしゃせいひぎょう
【自動車整備作業 専門級】

| | |
|------------------|-------------------|
| じゅけんばんごう 受験番号 | な 名 まえ 前 |
| | |

つぎの「1. 試験時間」、「2. 注意事項」にしたがって、課題1～課題3を行
いなさい。

1. 試験時間

| かだい 課題 | か 題 題 名 | し けん じ かん 間 | |
|-----------|--|-------------------------|-----------------------------|
| | | ひょうじゅんじかん 標準時間 | う き じ かん 打ち切り時間 |
| 1 | さーきつとてすたによるバッテリの 端子電圧の測定作業とウエッジ球 (12V・21W) の抵抗値の測定作業 | 8分 | 10分 |
| 2 | ピストンの分解、組立とノギスによる ピストンピンの外径の測定作業 | 8分 | 10分 |
| 3 | ホイールシリンダの分解、組立と ピストンカップとダストブーツの 交換と給脂の作業 | 10分 | 13分 |

2. 注意事項

- (1) 試験問題には、受験番号と名前を書きなさい。
- (2) 試験問題は、試験が終わったら回収します。
- (3) 試験は、試験官の指示にしたがって行ってください。
- (4) 全ての試験作業は、自分自身で行ってください。
- (5) 課題の中で指定されていること以外は行わないでください。
- (6) 試験部品は、試験会場に準備してあるものを使用してください。
- (7) 測定機器等は、持参したものを使用してください。
- (8) 試験部品などに異常があれば、試験官に申し出てください。
- 試験が始またら、試験部品は交換できません。ただし、新たに試験部品などに異常が見つかった場合は、試験官に申し出てください。
- (9) 試験中は、測定機器等の貸し借りはできません。
- (10) 試験時間の計測は、試験官の「試験開始」の合図から各課題の作業を終了した時点までとしますので、作業が終了したら手を上げて「終わりました」と試験官に声をかけてください。
- (11) 試験は、作業にあった服装で受験してください。
(作業態度も評価の対象になります。)
- (12) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点します。

3. 受験者が持参するもの

| 品名 | 内容 | 数量 |
|---|------------------------------|----|
| 受験票 | | 1 |
| 実技試験問題 | この用紙 | 1 |
| ノギス ※ダイヤル型、デジタル型は不可 | 測定範囲が 0 ~ 150 mm 程度のもの | 1 |
| アナログ式サーキットテスター ※デジタル式は不可 ※スイッチはオフにして、プローブは はずしておくこと。 | 自動車の整備 作業に適したもの | 1 |
| 必要に応じて、ピストンカップ等の 交換に使用する工具等 | 交換作業に適したもの | 1式 |
| 筆記用具 | | 1式 |
| 作業服 | | 1式 |
| 作業帽 | | 1 |
| 安全靴 | | 1 |

※持参する測定機器の精度は、実習実施者が確認しておくこと。

4. 課題の内容

【課題1】 サーキットテスタによるバッテリの端子電圧の測定作業とウエッジ

球 (12V・21W) の抵抗値の測定作業を行う。

次の手順にしたがって、「サーキットテスタによるバッテリの端子電圧の測定

作業とウエッジ球 (12V・21W) の抵抗値の測定作業」を行い、その結果を

『チェック表』に記入しなさい。

[作業手順]

(1) バッテリの端子電圧の測定の準備をする。

(2) ファンクションスイッチをバッテリの端子電圧の測定に適した位置にする。

(3) 赤色と黒色のプローブをバッテリ端子の (+) 側、(-) 側の適切な端子

に当て、目盛りを読み取り、『チェック表』に測定値を記入する。

(4) ウエッジ球 (12V・21W) の抵抗値の測定の準備をする。

(5) ファンクションスイッチの抵抗値の測定に適した位置にする。

(6) 赤色と黒色のプローブをウエッジ球 (12V・21W) に当て、目盛りを読み取り、『チェック表』に測定値を記入する。

(7) ウエッジ球 (12V・21W) が断線していないか判定し、『チェック表』に記入する。

(8) サーキットテスタを使用前の状態に戻す。

(9) 終わったら試験官に報告する。

測定値の記入は、例のように小数点以下第1位までとする。

※電圧の場合 (例 15.4 V) ※抵抗値の場合 (例 30.5 Ω)

『チェック表』

| 点検項目 | 測定値 | 点検結果 ○か×を記入 |
|--------------------------------------|-----|----------------|
| (3) バッテリの端子電圧 | V | |
| (6) ウエッジ球 (12V・21W) の 抵抗値 | Ω | |
| (7) ウエッジ球 (12V・21W) が 断線していないかの判定 | | |

【課題2】ピストンの分解、組立とノギスによるピストンピンの外径の測定作業

おこな
を行 う。

つぎ てじゅん 次の手順にしたがって、「ピストンの分解、組立とノギスによるピストンピン
がいきい そくてい おこな けつか ちえつくひょう きにゅう の外径の測定」を行 い、その結果を『チェック表』に記入しなさい。

さぎょうてじゅん [作業手順]

(1) ピストンからコンロッドとピストンピンを取り外す。

※スナップリングは、外してあります。

(2) 測定の準備をする。

(3) ピストンピンの中央部を測定し、『チェック表』に測定値を記入する。

(4) 測定結果と基準値から良否判定を行 い、『チェック表』に記入する。

(5) ピストンにコンロッドとピストンピンを組み付ける。

(6) 終わったら試験官に報告する。

測定値の記入は、例のように小数点以下第2位までとする。(例 15.55mm)

良否判定で良好の場合は を記入する。

良否判定で交換が必要な場合は を記入する。

『チェック表』

| てんけんこうもく 点検項目 | そくていち 測定値 | てんけんけっか 点検結果 <input type="radio"/> か <input checked="" type="radio"/> を記入 |
|------------------|--------------|---|
| (3) ピストンピンの外径 | mm | |
| (4) 良否判定 | | |

※ピストンピンの外径の基準値は、試験実施時にお知らせします。

【課題3】ホイールシリンドラの分解、組立とピストンカップとダストブーツの

交換と給脂の作業を行う。

次の手順にしたがって、「ホイールシリンドラの分解、組立とピストンカップと

ダストブーツの交換と給脂の作業」を行なさい。

[作業手順]

(1) 組み付けてある全ての部品を分解図のとおりに取り外す。

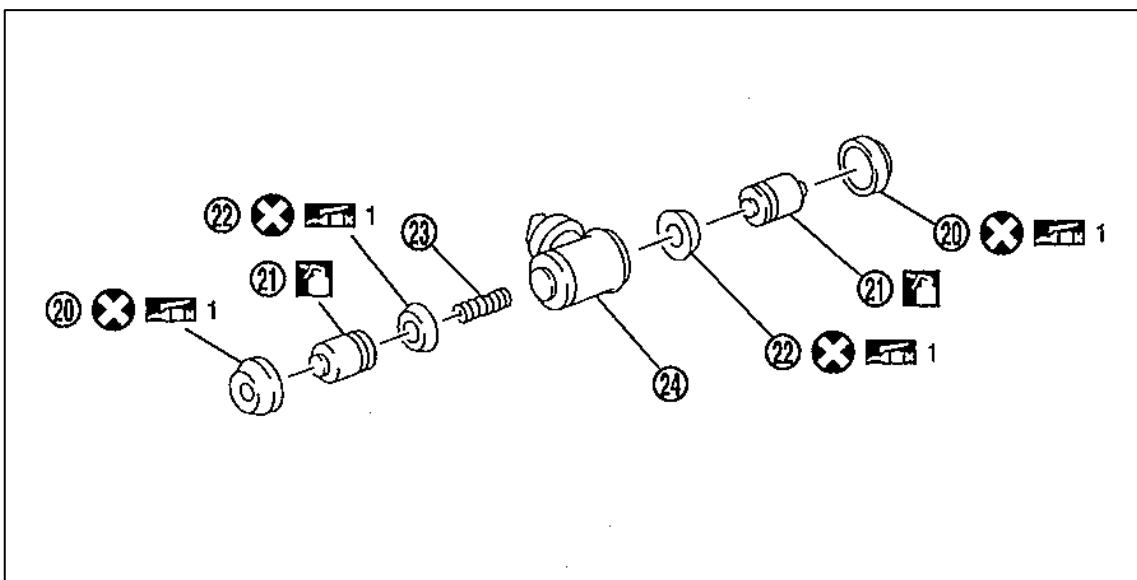
(2) ピストンカップとダストブーツを交換する準備をする。

(3) 必要な箇所にブレーキフルードまたはラバーグリースを給脂する。

(4) ピストンカップとダストブーツを交換し、元のとおりに組み付ける。

(5) 終わったら試験官に報告する。

ふろんとほいーるしりんだぶんかいす
フロントホイールシリンダ分解図



ぶひんめい
部品名

- ⑩ ダストブーツ (だすとぶ一つ)
- ⑪ ピストン (ぴすとん)
- ⑫ ピストンカップ (ぴすとんかっぷ)
- ⑬ リターンスプリング (りたーんすぷりんぐ)
- ⑭ シリンダ (しりんだ)

  : 純脂部品 (きゅうしふひん)

 : 再使用不可部品 (さいしょうふかぶひん)

※油脂の種類

○  ブレーキフルード

○  ラバーグリース